

広報 EBETSU えべつ

あなたとまちをつなぐ

目次

- 6 令和6年度 江別市の予算
- 11 お済みですか？ 国民年金の手続き ほか
- 12 「教育支援センターねくすと」がオープン
- 14 【EVENT&NEWS】貸し農園 受け付け開始 ほか
- 16 【ごみコミえべつ】家庭ごみの出し方 ほか
- 30 【健康×暮らしナビ】緑の相談 Q&A ほか

2024

4

vol.1014

幸せが未来へ つづくまちえべつ



新しい総合計画がスタート



表紙は、第7次江別市総合計画の冊子に使われているイラストを基に作成しました。

新しい総合計画がスタート

えべつ未来づくりビジョン（第7次江別市総合計画）

〔詳細〕 政策推進課
（総合計画・総合戦略担当）
☎ 381-1033



江別市長 後藤 よしひと

江別市は、市の最上位計画である「えべつ未来づくりビジョン（第7次江別市総合計画）」を策定しました。

今後10年間のまちづくりの指針である総合計画は、市民参加の取り組みを通じて、多くのご意見をいただきながら作り上げました。

これから、将来都市像「幸せが未来へつづくまち えべつ」の実現に向けて、新しい計画に基づきまちづくりを進めていきます。

時代の変革期

現在は、揺れ動く国際情勢をはじめ、景気の変動や、感染症の流行、大規模災害の発生などによって不安定な社会経済状況の中にあり、近い将来を見通すことが非常に難しい時代です。

そのような中で、さまざまな課題に対し、これまで以上に柔軟かつ大胆に対応しながら、新しい価値を創造し、困難を乗り越えていく必要があります。

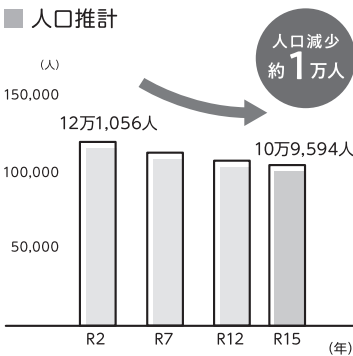
これからも「江別市に住んで良かった」「このまちにずっと

住み続けたい」と思っていただけけるよう、市民の皆さまと手を取り合いながら、着実にまちづくりを進めていきます。

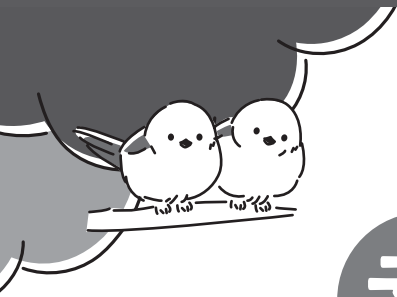
人口減少対策に重点

全国的に少子高齢化と人口減少が進む中、令和5年の江別市における0～14歳の年少人口の転入超過数は、6年連続して全国の市町村の中で20位以内という喜ばしい結果となりました。

一方で、全国的に進む人口減少の大きな流れの中で、江別市の人口は令和2年の12万1056人から、本計画の終了年である10年後の令和15年には1万人以上が減少すると見込んでいます。



江別市子育てひろば ほぐほぐ



\\ 将来都市像 //

幸 せ が 未 来 へ つ づ く ま ち え べ つ

まちづくりの基本理念

- いつまでも元気なまち
- みんなで支え合う安心なまち
- 子どもの笑顔があふれるまち
- 自然とともに生きるまち
- 新しい時代に挑戦するまち

このまま、人口減少が進むと、深刻な人手不足に陥り、次第に経済が縮小し、まちが衰退していく可能性があります。

まちの活力を保つためには、将来を担う子育て世代などの若い方々に江別市を選んでいただけるような取り組みを行いながら、今、市内で活躍されている方が、年齢を重ねても、安心して住み続けられるまちづくりを進めていくことが重要です。

これらの取り組みを重点的に進めていくことによって、人口減少を和らげ、令和15年の推計を上回る人口を目指します。

目指すまちの姿の検討

計画の策定にあたっては、人口減少対策をはじめ、まちの経済活性化やデジタル技術の活用、脱炭素・循環型社会への対応、地域のつながりづくり、共生社会への対応、持続可能な行財政運営など、江別市の課題を市民の皆さまと共有しながら、目指すまちの姿を検討してきました。

まちづくりの基本理念

多くの市民の皆さまとお話をする中で、「課題はあるが、江別市は住みやすく、このまちのことが好き」「変わらずに、い

つまでも、住み良いまちであり続けてほしい」というご意見を多くいただきました。

こうした市民の皆さまの想いをもとに、これからの江別市が目指すまちの姿として、五つの「まちづくりの基本理念」を定めました。

将来都市像

住みやすく、魅力的なまちであり続けるため、基本理念に基づきまちづくりを進めることで、江別市に関わる全ての人が幸せを実感し、その幸せが未来へ続いていくという希望を込めて、「幸せが未来へつづくまちえべつ」を将来都市像に掲げることとしました。

江別市は、この将来都市像を実現させるため、市民の皆さまとの協働のもと、あらゆる課題に挑戦しながら、みんなで支え合い、安心して暮らせる共生のまちを目指して、まちづくりを進めていきます。



重点的・集中的に取り組む戦略

えべつ未来戦略 (前期5年間)

推進機能：情報発信、ICT化

- 戦略1 子どもが主役のまちをつくる
- 戦略2 幸せに歳を重ねられる暮らしをとどける
- 戦略3 みんなの働きがいと、元気な経済をつくる
- 戦略4 地域から地球温暖化防止に挑む
- 戦略5 デジタル技術で住みよい明日^{あす}を切りひらく

基盤：協働

えべつ未来戦略

将来都市像「幸せが未来へつづくまち えべつ」の実現に向け、まちの魅力を高めながら、課題の解決につながる五つの戦略を設定し、重点的・集中的な取り組みを進めていきます。

子どもが主役のまちをつくるための子育て・教育に関する戦略をはじめ、健康増進・共生社会の形成、経済活性化、地球温暖化防止、デジタル技術の活用に関する戦略を設定しました。

また、五つの戦略を実施する根底となる基盤には「協働」を、戦略を効果的に実施する推進機能には「情報発信、ICT化」を設定して、総合計画の前期5年間のまちづくりを推進していきます。



※ 総合計画の冊子では、「子育て応援のまち・えべつ Instagram フォトキャンペーン」に投稿いただいた子どもたちの写真を多数掲載し、子どもたちのあふれる笑顔とともに、将来都市像を紹介しています

総合計画の構成と期間

総合計画は、市の最上位計画であり、未来のまちづくりの方向性を示す計画です。

第7次江別市総合計画では、10年間の中長期的な視点に立ってまちづくりを進める「えべつまちづくり未来構想」と、大きく変化する社会状況に対応するために、総合計画の前期と後期それぞれ5年間で重点的・集中的に取り組む「えべつ未来戦略」の2本柱で構成しています。

えべつ未来づくりビジョン（第7次江別市総合計画）令和6～15年度

《えべつまちづくり未来構想》

期間：10年（5年を目途に見直し）

まちづくりの基本理念

将来都市像

幸せが未来へつづくまち えべつ

まちづくり政策

環境、産業、福祉など、九つの分野ごとに取り組む施策

将来都市像の
実現につなげる

戦略テーマに
沿った具体的
施策を選定

《えべつ未来戦略》

期間：前期5年・後期5年

江別市の特色や優れた点を生かして、まちの魅力を高めながら、課題の解決につながるテーマを設定します。

テーマの実現に必要な手立てを「まちづくり政策」の中から選び、重点的・集中的に取り組めます。

分野ごとの個別計画

環境、産業、福祉、健康、防災、都市計画、子育て、教育、スポーツ、協働などの分野別に策定されている計画など

市民参加の取り組み

第7次江別市総合計画の策定作業は、令和3年度に着手し、これまで、市民5千人を対象とした「まちづくり市民アンケート調査」をはじめ、さまざまな市民参加の取り組みを行ってきました。

策定作業時は、新型コロナウイルス感染症の流行下であり、大人数による対面型の意見交換が困難な状況であったため、少人数のグループを複数設定し、多くの方からご意見を伺う「えべつの未来づくりミーティング」を実施し、幅広い意見をお聴きしてきました。

ミーティングは、中学生や高校生、大学生をはじめ、市内企業の経営者や若手従業員、障がいのある方や子育て中のパパ・ママなど、30のグループと江別市のまちづくりに関する意見交換を行い、江別市の強みや弱み、今後力を入れて取り組むべき分野などについてご意見をいただきました。

他にも、市内高校の生徒を対象にした「高校生WEBアンケート調査」や、

インターネットを通じて、江別市の未来についてご意見を伺う「えべつの未来づくりプロジェクト」などの取り組みを実施してきました。

これらの市民参加の取り組みを通じて得られた、たくさんの方の多様な意見を参考にしながら、計画づくりを行いました。

本計画の策定にあたり、ご協力いただいた市民の皆さま、関係者の皆さまに、心から感謝とお礼を申し上げます。



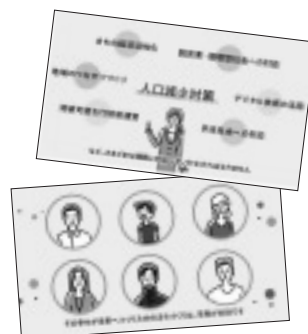
子育て中のパパ・ママとのミーティング



大麻地区自治連合会連絡協議会とのミーティング

▽紹介動画をご覧ください

総合計画をより分かりやすく、身近に感じてもらえるよう、紹介動画（約3分）を作成しました。左の二次元コードからご視聴ください。



▽総合計画の詳細はホームページなどでご覧ください

本編（まちづくり未来構想）と別冊（えべつ未来戦略）は、市ホームページ（左の二次元コード）のほか、公民館などの公共施設でご覧いただけます。



江別市の予算

【詳細】
財政課 ☎ 381-1010



基本方針

令和6年度は、えべつ未来づくりビジョン（第7次江別市総合計画）の初年度であることから、同計画に掲げる将来都市像「幸せが未来へつづくまちえべつ」を目指し、「いつまでも元気なまち」「みんなが支え合う安心なまち」「子どもの笑顔があふれるまち」「自然とともに生きるまち」「新しい時代に挑戦するまち」の五つの基本理念に基づいて予算を編成しました。

最大の課題である人口減少と、地域経済活性化のため、「えべつ未来戦略」と「江別市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を中核に据え、戦略に位置付ける事業を重点的、集中的に進めます。

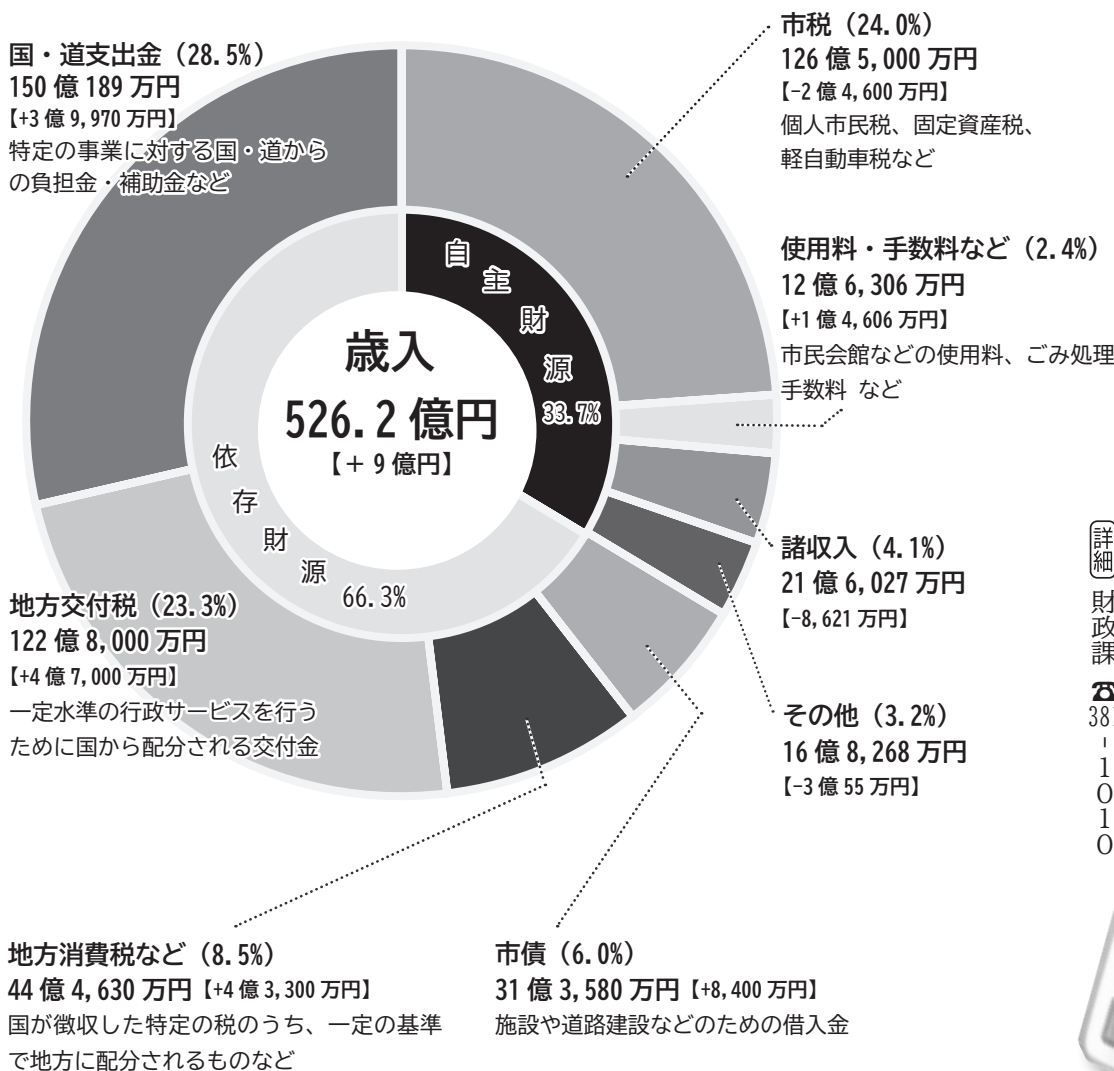
予算規模は拡大

一般会計の予算は、前年度から9億円（1.7%）増加しています。特別会計と企業会計を含めた全会計の合計は、964億3075万9千円となり、前年度と比べて2億9417万1千円（0.3%）増加しました。

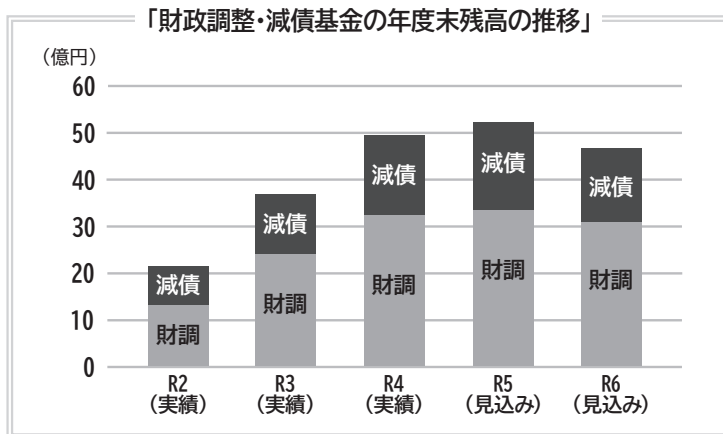
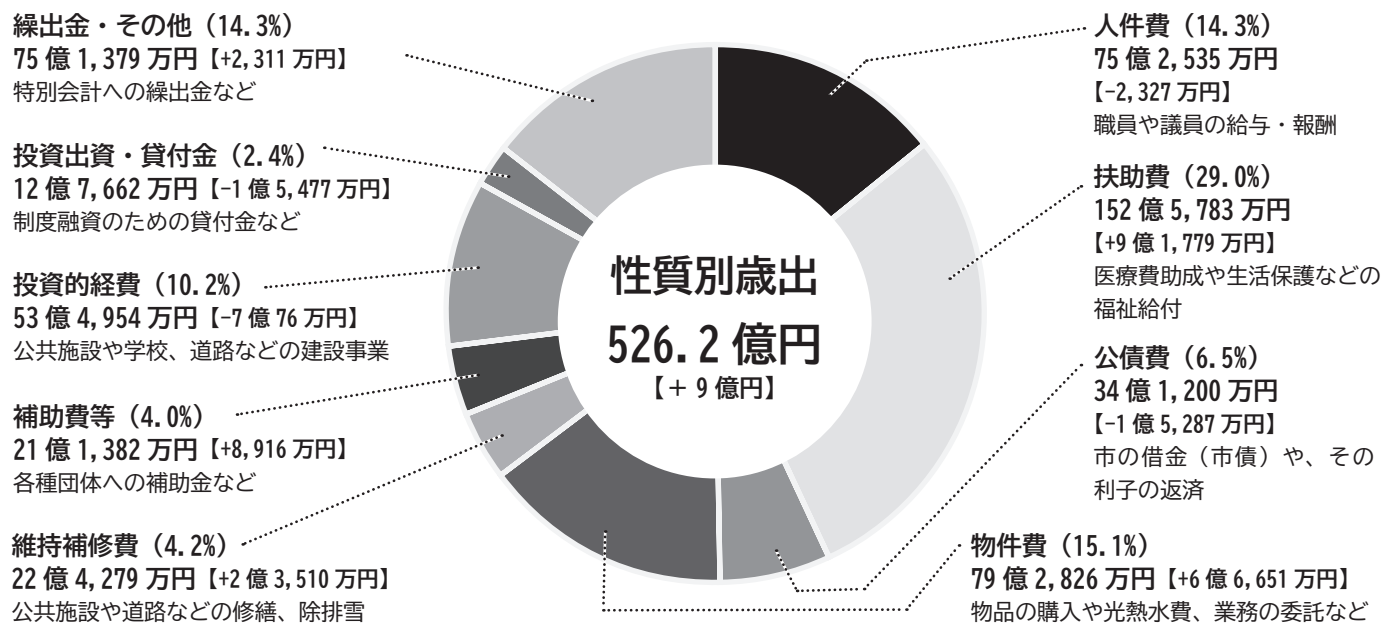
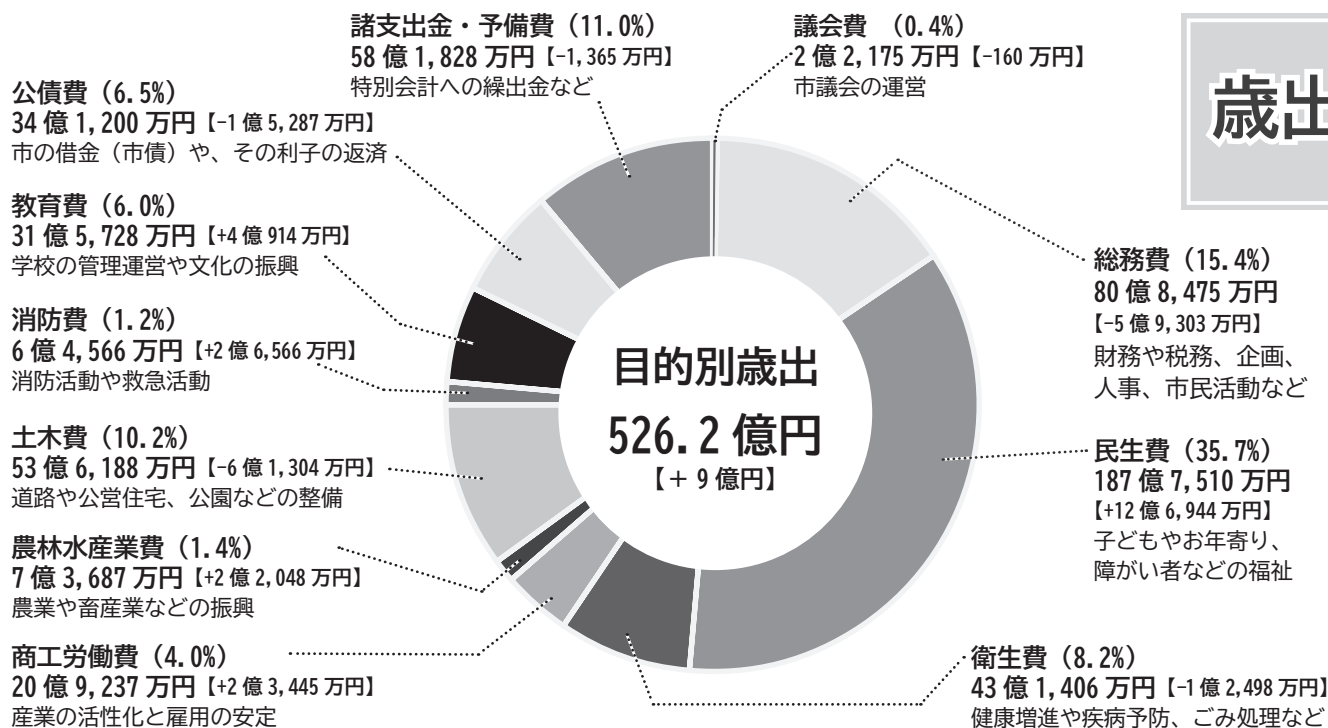
歳出は、新栄団地建替え事業の終了などにより投資的経費が減少する一方、福祉・医療などの社会保障費の増加や原油価格・物価高騰などにより扶助費および物件費が大幅に増加しています。また歳入は、地価上昇により固定資産税の増加が見込まれるほか、定額減税の影響による個人市民税の減少分は、地方特例交付金で補てんされるものの、

歳入

【 】内は前年度比
※1万円未満の金額を整理して記載しています



歳出



基金は、大型事業の実施、災害や不測の事態への備えなど、目的をもって積み立てて、活用しています。

基金残高は、経費の圧縮などにより、令和5年度は増加が見込まれますが、令和6年度は原油価格・物価高騰などの影響により歳出が増加するため、減少となる見込みです。

今後とも、さらなるコストの縮減や自主財源の確保など、健全な財政の維持に努めます。

基金は減少の見込み

臨時財政対策債が減少するため、一般財源総額は微増となる見込みです。

令和6年度 主な事業



子育て・教育

子どもたちが元気に育ち、笑顔で学ぶ、未来あるまちを目指します。



リニューアルオープンした『子育てひろば ぽこあぽこ』

事業名	金額	主な内容
子ども医療費助成事業	3億1,754万円	拡大 通院医療費助成対象に小学4年生から中学3年生を追加
地域子育て支援拠点事業 (子育てひろば ぽこあぽこ)	3,426万円	子育てひろば ぽこあぽこの運営、子育て講習会などの開催
新規 不妊治療等助成事業	370万円	特定不妊治療と併用実施した「先進医療」の費用の一部を助成
小中学校 ICT 環境整備事業	1億4,242万円	新規 AIドリル・自動採点システムの導入
不登校児童生徒支援事業	1,938万円	拡大 不登校児童生徒を対象とした適応指導教室の常設化



自然・環境 安全・安心

豊かな自然とともに暮らす、環境にやさしく、美しいまちを目指します。また、安全で安心して住み続けられるまちを目指します。



ごみ減量体験講座（買い物ゲーム）

事業名	金額	主な内容
新規 脱炭素推進事業	1,103万円	太陽光発電設備と蓄電池を導入する市民への補助
環境教育等推進事業	394万円	えべつ環境広場の開催、子ども向け教育、市民環境講座
環境マネジメントシステム事業	96万円	新規 省エネルギー診断の実施
新規 救急業務デジタル化事業	1,637万円	救急医療支援システムの導入
新規 本庁舎建替事業	3,395万円	本庁舎建設基本設計、基本設計に伴う本庁舎 VR データ作成

令和6年度予算に計上した事業の中で、各分野ごとに主な事業を紹介します。
詳細は、「絵で見る江別市予算案」（下の二次元コード）をご覧ください。





江別 RTN パーク（分譲地）



除排雪作業

産業が地域に根差す、活力とに
ぎわいのあるまちを目指します。
また、いつまでも暮らしやすく、
便利で快適なまちを目指します。



産業・都市生活

事業名	金額	主な内容
新規 企業誘致における未利用地活用調査事業	480 万円	企業誘致の促進に向けて市内における未利用地の活用について検討
新規 スマート農業推進検討事業	3,100 万円	農業者に対するニーズ調査・ワークショップの実施
除排雪事業	17 億 8,259 万円	除排雪の実施、自治会排雪の支援、 新規 人材確保を目的とした資格取得支援
行政デジタル化推進事業	3,214 万円	新規 生成 AI の導入、基幹系システムの標準化・共通化、会議録作成音声認識支援システムの導入
生涯健康プラットフォーム推進事業	1,469 万円	生涯健康プラットフォームの運用

特別会計の予算

257 億 7,800 万円

(前年度比 1 億 9,600 万円減)

- ・国民健康保険特別会計
…122 億円
- ・後期高齢者医療特別会計
…22 億 5,300 万円
- ・介護保険特別会計
…111 億 1,200 万円
- ・基本財産基金運用特別会計
…2 億 1,300 万円

予算には、一般会計のほかに、特別会計と企業会計があります。

それぞれ公共料金や利用料などの独自収入があり、一般会計と切り離すことで、事業の収支を明確にしています。

企業会計の詳細は、10 ページ
をご覧ください。



旧町村農場

生涯学習・文化・スポーツに親
しみ、心身ともに元気で豊かに過
ごせるまちを目指します。また、
みんながつながり、認め合い、協
働しながらともに活躍するまちを
目指します。



生涯学習・文化・スポーツ 協働・共生

事業名	金額	主な内容
新規 情報図書館デジタル化推進事業	1 億 7,140 万円	セルフ貸出機の導入、ICゲートの設置
旧町村農場保存活用推進事業、管理運営事業	2,551 万円	令和6年6月リニューアルオープン（予定）
セラミックアートセンター企画展開催事業	771 万円	新規 「人間国宝 鈴木藏 <small>おさむ</small> の志野展」
地域自治活動事業補助金	1,799 万円	自治会の活動実績に応じた補助の見直し
自治基本条例関連事業	207 万円	拡大 自治基本条例検討委員会の開催

市立病院

☎ 382-5151
管理課財務係



予算と前年度(決算見込)の比較増減

区分		R6年度	R5年度 (決算見込み)	比較増減
入院	収益	36.8億円	32.8億円	4.0億円
	患者数	71,175人	65,137人	6,038人
	1日平均患者数	195人	178人	17人
外来	収益	17.9億円	17.9億円	±0円
	患者数	138,024人	135,024人	3,000人
	1日平均患者数	568人	556人	12人
当年度純増益		-2.8億円	-2.0億円	-0.8億円
一般会計繰入金		15.0億円	14.7億円	0.3億円
一般会計長期借入金残高		21.1億円	21.5億円	-0.4億円
累積欠損金		7.8億円	5.1億円	2.7億円

令和5年度は収支均衡に向け策定した「江別市立病院経営再建計画」の最終年度であることから、5類に移行した新型コロナウイルス感染症への対策を継続しながら、内科系二次救急輪番制への参画など、さまざまな取り組みを進めました。

また、「高度先進地域医療」(病院事業管理者が提唱する「患者様に寄り添う原点回帰の医療とデジタル技術を駆使した高度な先進的医療の融合」という考え方)の実現に向け、医育大学との共同研究を本格始動しました。

令和6年度は新たに策定した「江別市立病院経営強化プラン」の初年度となります。計画に掲げる「地域の医療をつなぎ、地域に密着した医療を提供し、地域の発展に貢献する病院」を実現するため、職員一丸となって医療の質と経営の質の両立を目指して、以下の事項に取り組みます。

主な取り組み事項

▼ 救急応需の継続や急性期医療の充実による収益最大化

- ・紹介患者受入れ促進や救急患者の受入れ継続、診療報酬制度に即した病床利用の最適化
- ・リハビリテーション部門の体制強化による入院患者などへの早期リハビリ介入などの取り組み
- ・「口から食べる」摂食嚥下ケアの推進を図る摂食嚥下チームの立ち上げ

▼ 外来機能の高度化と専門化、予防医療の充実

- ・「紹介受診重点医療機関」の指定を念頭においた紹介患者の受入れおよび逆紹介の推進
- ・健診スペースの環境改善と健診内容の充実、利用者拡大

▼ 「働き方改革」と「医療安全」の推進

- ・電子カルテおよび周辺システム活用による業務効率の改善、医療DXの推進
- ・部門横断的な業務整理や改善、タスクシェアなどによる「働き方改革」の推進
- ・チーム活動や研修の充実などを通じた安全管理体制の強化

▼ 広報活動の充実

- ・市立病院の医療機能や魅力をアピールするためのホームページなどの充実
- ・訪問活動や医師会活動、各種協議会への参加などによる地域の医療関係機関との顔の見える関係づくり

▼ 元気が出る職場づくりと人材育成の重視

- ・「江別市立病院経営強化プラン」に基づく経営目標の共有と目標を達成するための体制構築および進捗管理
- ・コミュニケーションの活性化や心理的安全性を高めるための取り組み

▼ 防災・感染症対策

- ・新型コロナウイルス感染症対策を中心とした感染防止対策や、職員などへの教育・啓蒙活動の実施

▼ 高度先進地域医療の実現、医育大学との共同研究

- ・健診センターを拠点とした北海道大学呼吸器内科学教室および市内企業との共同研究への継続的参画
- ・江南・南空知地域の地域医療の充実・発展を目的とした札幌医科大学消化器内科学講座との共同研究への継続的参画

下水道事業会計

54億8,082万円(前年度比1億2,383万円減)

主な事業

- ・管路整備事業 1億1,034万円
- ・管路施設改築更新事業 3億1,322万円
- ・処理場・ポンプ場施設改築更新事業 7億7,267万円

水道事業会計

36億9,897万円(前年度比4億1,219万円減)

主な事業

- ・配水管整備事業 3億2,697万円
- ・配水施設整備事業 1億4,326万円
- ・浄水施設整備事業 1億4,245万円

☎ 385-1214
水道部総務課財務係

令和6年度の上下水道事業は、上下水道ビジョンに基づき、老朽配水管の更新や耐震化、処理場・ポンプ場の設備更新などを行います。

上下水道

お済みですか? 国民年金の手続き

【詳細】

国保年金課 ☎381-1028
新さっぽろ年金事務所
国民年金課 ☎892-9316

20歳以上60歳未満の方は、国民年金への加入が必要です。

会社員、公務員の方が退職したときは、厚生年金の資格喪失日から14日以内に国民年金への加入手続きを行ってください。厚生年金に加入している方の配偶者で扶養に入っている方も、配偶者の退職時には手続きが必要です。

手続きは、市役所国保年金課または新さっぽろ年金事務所国民年金課の窓口のほか、マイナンバーカードをお持ちの方は、マイナンバーポータルから電子申請することも可能です。



国民年金保険料の未納期間があると、将来の年金受給が不利になります。

令和6年度の国民年金保険料は月額1万6980円です。納付書以外にも、口座振替やクレジットカード、スマートフォンアプリなどで納付できます。

国民年金の 学生納付特例申請

大学や専門学校に在学中でも、20歳になると国民年金に加入し、保険料を納めなければなりません。

保険料の納付が難しい場合は、学生納付特例の申請が承認されると、在学期間中の保険料の納付が猶予されます。

【申請方法】

申請は年度ごとに必要で、令和6年度の申請は4

月1日(月)から受け付けます。必要書類を持参して、市役所国保年金課の窓口で申請を行ってください。

※申請は2年1か月前までさかのぼってすることができます

※令和5年度で既に申請が承認されており、令和6年4月以降も在学予定の方には、4月末までに日本年金機構から継続申請用のがきが届きます。そのほか、必要事項を記入して返送することで、令和6年度の申請ができます(学校が変わった場合などは、はがきでの申請はできません)

【申請に必要な書類】

- ・基礎年金番号がわかるものまたはマイナンバーカード
- ・学生証または在学証明書

固定資産税の「縦覧制度」と「閲覧制度」

【詳細】 資産税課 ☎381-1404

■ 縦覧制度

縦覧制度は、納税者が市内の土地や家屋の評価額が載っている価格等縦覧帳簿を見ることによって、自分の資産と比較し、適正であるかを確認できる制度です。

- ※ 償却資産は縦覧制度の対象ではありません
- ※ 縦覧制度は無料で利用できます

【対象】

1. 固定資産税の納税者
2. 納税者の代理人(同居の親族以外は委任状が必要)
3. 納税管理人

【縦覧期間】

4月1日(月)～5月31日(金)
※平日(祝日を除く)8時45分～17時15分

■ 閲覧制度

閲覧制度は、納税義務者が評価額や面積といった自分の資産の情報が載っている課税台帳を確認できる制度です。

【対象】

1. 固定資産税の納税義務者
2. 納税義務者の代理人(同居の親族以外は委任状が必要)
3. 納税管理人
4. 借地人や借家人など、土地・家屋の使用や収益を目的とする権利(対価が支払われるものに限る)がある方

【閲覧開始日】

4月1日(月)

【手数料】

縦覧期間中は、令和6年度分に限り無料
それ以外は1件につき300円

※ 縦覧・閲覧制度を利用するには本人確認ができるものが必要です。他にも書類などが必要な場合があります。詳しくは市HPをご確認ください



不登校の子どもたちを支援する 「教育支援センターねくすと」がオープン

教育委員会では、学校に行きたくても行けない子どもたちを支援するため、平成16年から適応指導教室「すぽっとケア」を運営しています。青年センターでの月3回ほどの開設から始まり、不登校の子どもが増加に合わせ利用日を増やしていき、令和5年度からは週5日運営していました。

さらなる支援の充実を目指し、今年4月、常設会場へ移転すると同時に名称も「教育支援センターねくすと」に変え、リニューアルオープンします。

【詳細】教育支援課
☎ 381-1409

▽「教育支援センターねくすと」は何をするところ？
不登校の子どもたちの学習支援、生活習慣の改善、悩みや不安の解消、心の居場所づくりなどを目的として設置しています。専任指

導員や相談員、学習サポートが子どもたちを支援しています。

利用者が持ち込んだ教材で学習したり、子どもたち同士でゲームなどで交流したりして過ごします。このほか、バドミントンなどの体育活動や、農業体験、陶芸などの体験も行っています。

また、保護者懇談会を開催し、保護者同士が交流する機会も設けています。

▽利用までのながれ

① 在籍校や教育支援課に利用希望を連絡

② 本人と保護者が見学

③ スタッフト面談

④ 在籍校に利用開始の連絡

▽利用時間

月～金曜日 10～15時

(水曜は12時まで) 時間内の好きな時に利用できます。

※土日祝日と春・夏・秋・冬休み中はお休みです

▽ねくすとへの相談

☎ 376-0222

「ねくすと」の名前は、通級している子どもたちが、いくつかの候補から投票で選びました。名前のおり、子どもたちの「つぎ」につながるような支援を目指します。

場所が変わると、取り組みも変わります。子どもたちと一緒によりよい居場所づくりをしていきたいです。



ねくすとスタッフの皆さん

1日の流れ

～とある通級生の1日～



【到着】9:55

いつもより早く着きました。午後から行く日もあります。



【学習の時間①】10:15～

国語の漢字ドリルをやりました。わからない問題は先生にヒントを出してもらいます。



【交流の時間①】11:15～

みんなでトランプをして遊びました。



【お弁当の時間】12:00～

教室でおしゃべりしながら食べました。個室で静かに食べることもあります



【学習の時間②】13:00～

お気に入りの窓際のテーブルで、タブレット端末を使って問題に取り組みました。



【交流の時間②】14:15～

みんなでジェンガをして遊びました。



【帰りの会】14:55

さようなら！明日も来ようかな



教育支援センターねくすとの室内

公民館教室 受講生の募集

中央公民館 4月13日(土)9:30から「初心者ヒップホップダンス教室」は電話で申し込み、「子どもえんぴつ教室」は受講料を添えて直接申し込み。

野幌公民館・大麻公民館 4月12日(金)から14日(日)の9:30～17:00に、各公民館へ直接申し込み。

※ 定員を超えた場合は抽選。定員に満たない場合は4月16日(火)9:00から追加募集(先着順)

▼ 中央公民館 ☎ 382-2376

初心者ヒップホップダンス教室

楽しみながら、豊かな表現力・想像力・リズム感を育みます。講師は、E'S STEP DANCEの宮本真澄さん。

日時 5/8～6/26の毎週水曜日
16:00～17:00(全8回)

対象 小学生
定員 先着20名

子どもえんぴつ教室

鉛筆を使った文字の筆圧や書き方の基本を学びます。講師は、よしかわきよこ(吉川玉芳)さん。

日時 5/10～6/28の毎週金曜日
16:00～17:00(全8回)

対象 小学2～3年生
定員 先着10名
料金 500円

▼ 野幌公民館 ☎ 382-2414

自分だけの器づくり 初心者陶芸教室

日常使う食器などを作りながら、陶芸の基本を学びます。講師は、ほくしゅうがま(北州窯の對馬賢二)さん。

日時 5月～令和7年3月の第3水曜日(2月は休み)
18:30～20:30(全10回)

定員 16名
料金 受講料2,000円、粘土代380円(kg)

思いを伝える 伝筆(つてふで)教室

筆ペンで言葉を伝える新しいコミュニケーション「伝筆」を学びます。講師は、あけみ(伊賀明美)さん。

日時 5月～令和7年3月の第3金曜日(12月は休み) ※6・8月は第4金曜日
18:30～20:30(全10回)

定員 12名
料金 受講料2,000円、材料費月1,200円

▼ 大麻公民館 ☎ 387-3315

はじめてのスマートフォン教室

スマートフォンの電源の入れ方から安全な使い方を学べる初心者向けの教室です。講師は、株式会社ティーガイア。

日時 5～7月の第2・4金曜日
13:30～15:30(全6回)

定員 14名
料金 受講料1,200円

ハンドメイドを楽しもう! クラフト教室

1年を通じて、ジャンルの違う手工芸品を作ります。講師は、北海道アートクラフトアカデミー校長、あわたき(大滝いづみ)さん。

日時 5月～令和7年3月の第1水曜日(6・8月は休み) ※5月は第5水曜日、7月は第1・5水曜日、1月は第2水曜日
13:30～15:30(全10回)

定員 18名
料金 受講料2,000円、材料費9,900円

総合型地域 スポーツクラブ

子どもから高齢者まで、幅広い世代の方が参加できるスポーツクラブです。参加者の志向やレベルに合わせてさまざまなスポーツを楽しめます。

(詳細) スポーツ課 ☎ 381-1061



01 ダンスサークル リズムネイション

(詳細) 右上の二次元コードから

主な活動場所 大麻体育館・青年センターほか

幼児向けの入門クラスから上級者まで市内各所でレッスンをしており、年に一度の発表会や、さまざまなイベントに参加するなど楽しく活動しています。料金は月謝制と、自分のペースで通える1レッスン料金制があります。見学や体験は随時行っていますので、お問い合わせください。



02 北翔大学スポルクラブ

(詳細) ☎ 387-4762

主な活動場所 北翔大学構内

北翔大学の施設で、こども体操教室、大人向け健康体操、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、トレーニング、プールなどの各種教室を開催。多くの地域の方が会員として日々利用しています。北翔大学の研究の一環で運営しており、研究に協力すると体力測定の結果を知ることができます。



03 わくわくピース総合型クラブ

(詳細) ☎ 090-3898-5920

☎ 090-6260-0141 (スポーツ吹き矢)

主な活動場所 文京台小学校・文京台地区センター(スポーツ吹き矢)

タグラグピーススポーツ少年団、スポーツ吹き矢サークル、アダプテッド・スポーツを中心としたわくわく文京台という活動をしています。幼児から大人まで参加できます。興味のある方、ご連絡をお待ちしています。

EVENT

野菜作り講習会

〔詳細〕 江別市「まち」と「むら」の交流推進協議会（農業振興課内） ☎ 381-1025



貸し農園や家庭菜園で野菜栽培を楽しむ方を対象とした講習会です。基本の土作りや代表的な野菜の栽培方法などを解説します。

日 時 4月26日(金) 10:00～12:00（午前の部）
13:00～15:00（午後の部）

会 場 えぼあホール

講 師 学校法人八紘学園 北海道農業専門学校
野菜科長 やまぐちたけひこ 山口猛彦さん

定 員 200名

料 金 各部100円（資料代）

持 ち 物 筆記用具

申込方法 4月19日(金)17:15までに農業振興課へ電話（☎381-1025）で申し込み。



NEWS

貸し農園 受け付け開始

〔詳細〕 江別市「まち」と「むら」の交流推進協議会（農業振興課内） ☎ 381-1025



市内の貸し農園を利用して野菜などを栽培してみませんか。家庭菜園では物足りないと考えている方にぴったりです。申し込み方法や利用条件は、各農園に直接お問い合わせください。

アトリエ陶 風の村農園（元野幌 919）

☎ 384-1259 ☎ 802-6663 ㊦ 100㎡：22,000円
5月上旬～10月下旬

中野ファーム（大麻 257）

☎・☎ 386-8715 ㊦ 50㎡：8,000円
5月上旬～10月下旬

ふれあい農園きくた（西野幌 149）

☎ 384-6838 携帯 080-4043-4933 ☎ 391-3870
㊦ 50～100㎡：11,000～22,000円
5月上旬～11月上旬

【共通事項】

トイレ・水道または水槽・駐車スペース有り、農具持参。
上記以外の農園は農業振興課（☎381-1025）へ問い合わせ。

NEWS

子育て中の
カラスに注意しましょう

〔詳細〕 環境課環境保全係自然環境担当 ☎ 381-1046

カラスは、春になると子育て期間に入り、攻撃的になります。襲われないためにも刺激しないようにしましょう。

Q カラスはなぜ襲ってくるのですか？

A ひなを守るため、巣やひなに近づいた人を襲うことがあります。

襲われないために、以下を徹底しましょう。

- ①巣をじっと見つめない
- ②巣やひなに近づかない
- ③手を頭の近くに挙げて歩く
- ④帽子をかぶるか傘をさす



Q 駆除や巣落としはできないのですか？

A カラスは法律で保護される野生動物です。害虫など

を捕食する益鳥としての側面もあり、生態系保全や野生動物保護の観点から、人間の都合で駆除することは厳しく制限されます。やむを得ずカラスの巣落としを行う場合は、巣がある土地の管理者か駆除業者へ依頼（有料）してください。

Q カラスなどの野鳥に餌をやってもいいのですか？

A 野生動物は、餌付けに頼るようになると、自然の中で生きる力を維持するのが難しくなります。

また、餌付けによってたくさんの鳥などが集まると、感染症のリスクを高めたり、周囲に糞害が発生したりするおそれもあります。法律では規制されていませんが、好ましくありません。

電柱に巣をみつけたら

巣作りのために運んだ枝などが電線に接触し、停電の原因になることがあります。見つけた方は北海道電力(株)までご連絡ください。

〔詳細〕 北海道電力(株)札幌支社 ☎ 892-8111

EVENT

認知症体験 VR 研修会

〔詳細〕 介護保険課 ☎ 381-1067



認知症の症状を疑似体験します。VR 機器を通じ、自分事として認知症の人の気持ちの理解を深めます。
※令和 5 年度からプログラムが一部新しくなりました

日時・会場 5 月 16 日(木) 市民会館 (30 分前から受付)
①昼の部 14:00 ~ 16:00
②夜の部 18:00 ~ 20:00

講師 (株)シルバーウッド ^{おののあやこ} 大野彩子さん
対象 13 歳以上で令和 5 年度に受講歴のない方
申込方法 4 月 15 日(月)から介護保険課へ電話 (☎ 381-1067) で申し込み。(各回先着 50 名)

EVENT

第 21 回
こいのぼりフェスティバル

〔詳細〕 こいのぼりフェスティバル実行委員会 (生涯学習課内) ☎ 381-1069



青少年の健やかな成長を願い、そのシンボルとして夢と希望を託した「こいのぼり」を、防災ステーション前庭やセラミックアートセンターで一斉遊泳させます。

オープニングイベントとして幼稚園児たちによる「掲揚セレモニー」を防災ステーションで行います。

掲揚期間 4 月 18 日(木)~ 5 月 13 日(月)
イベント 4 月 18 日(木) 掲揚セレモニー
5 月 11 日(土) お楽しみイベント

会場 江別河川防災ステーション (大川通 6)
セラミックアートセンター<掲揚のみ>

NEWS

参加者募集！
市民ミュージカルシアタークラブ

〔詳細〕 市民ミュージカル実行委員会事務局 (生涯学習課内) ☎ 381-1060

名作ミュージカル「十一ぴきのネコ」を題材に、約 4 カ月間のワークショップを開催します。最終日には練習の集大成としてえぼあホールでの発表会も予定しています。歌うのが好き！踊るのが好き！初挑戦！など、どなたでも大歓迎です。

日時 5 月 15 日(水)~ 8 月 28 日(水)の毎週水曜日 (8 月 14 日を除く)と 8 月 18 日(日)、25 日(日)、31 日(土)、9 月 1 日(日)
会場 えぼあホール (8 月 31 日、9 月 1 日)
中央公民館 (8 月 31 日、9 月 1 日以外)
講師 劇作家・演出家 ^{にしわきひでゆき} 西脇秀之さん
対象 小学生以上 ※年齢の上限なし (先着 20 名)
料金 5,000 円 (保険料含む)



申込方法 4 月 1 日(月)~ 22 日(月)に事務局へ電話 (☎ 381-1060)、ファクス (382-3434) またはメール (shogai.gakushu@city.ebetsu.lg.jp) で申し込み。

申し込みの際は、①名前 (漢字・よみがな)、②年齢、③住所、④電話番号をお伝えください。※ファクスまたはメールの際は、件名を「シアタークラブ」と記入

NEWS

市内体育施設
小中学生の使用料を無料化

〔詳細〕 スポーツ課 ☎ 381-1061

気軽に運動できる場を提供するため、5 月 1 日(水)から、市民体育館、大麻体育館、青年センター (体育館・プール)、東野幌体育館、あけぼのパークゴルフ場の小中学生使用料が無料になります。(登録クラブでの利用を除く)

ゴミコミえべつ

第79号

【詳細】 廃棄物対策課 ☎ 383-4211

■ ごみの収集日を知りたい

収集日カレンダーをご覧ください。収集日カレンダーは、市役所本庁舎や市大麻出張所、情報図書館、水道庁舎、公民館などで配布しています。

■ 詳細なごみの出し方を知りたい

分別の手引きをご覧ください。分別の手引きは、右の二次元コードから。

分別の手引きを見てもわからない場合は、「ごみの出し方相談ダイヤル（☎ 384-5600）」へお問い合わせください。

■ 指定ごみ袋やごみ処理券がほしい

市内のスーパーやコンビニなどで販売しています。販売店は右の二次元コードから。

ご利用ください ごみ出しアプリ 5374.jp

スマートフォン、タブレット、パソコンなどで、お住まいの地域の収集日やごみの分別を手軽に調べられるアプリ「5374.jp」を無料で公開しています。

ぜひ、ご利用ください。



ごみに関する情報を発信 ゴミザムライ SNS

▼ Instagram ▼ X (旧Twitter)



家庭ごみの出し方

● **燃やせるごみ、燃やせないごみ**

市の「指定ごみ袋」に入れて、ごみのはみ出さないように縛って出してください。



● **袋に収まらないごみ**

長さ1m以下で、指定ごみ袋に収まらないものは、「ごみ処理券」を貼って出してください。



▲ごみ処理券

● **大型ごみ**

長さ1mを越えるものや暖房器具など発火の危険があるものは、事前に大型ごみ受付センター（☎ 380-6000）に申し込みをしてください。その後、打ち合わせた場所に「大型ごみ処理シール」を貼って出してください。



▲大型ごみ処理シール

● **多量ごみ**

ごみステーションに一度に出せるごみの量は1世帯でおお

むね120リットルまでです。一度に多量のごみを出したい場合は、江別リサイクル事業協同組合（☎ 385-7124）に収集を依頼するか、環境クリーンセンターへ直接持ち込んでください。（どちらも有料）

● **資源物、危険ごみ**

中身全体が簡単に確認できる「透明または半透明の袋」にそれぞれ品目ごとに分別して入れてください。

資源物や危険ごみは、分別の仕方を間違えると収集できませんので注意してください。

● **ペットボトル**

ペットマークの表示があるものに限りです。ふたと帯を外し、水ですすいでください。※ふたと帯は「燃やせるごみ」です



ふたと帯ははずして！

● **びん・缶**

ふたを外し、水ですすいでください。※びんと缶は同じ袋で出すことができます

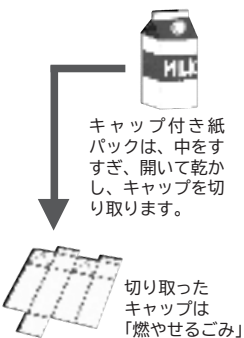
● **白色トレイ**

水ですすぎ、ラップなどを取り除いてください。

※納豆・カップ焼きそばの容器や色つきのトレイは「燃やせるごみ」です

● **紙パック**

水ですすぎ、開いて乾かしてください。※段ボール、雑誌、新聞紙などは、自治会などで行っている集団資源回収に出し、リサイクルにご協力をお願いします



紙パックは、中をすすぎ、開いて乾かして、キャップを切り取ります。

切り取ったキャップは「燃やせるごみ」

危険ごみの出し方

「スプレー缶、ガスカセット缶」「蛍光管」「乾電池、ライター、水銀体温計、モバイルバッテリー、小型充電式電池」の区分で出してください。
 ※ 電球（白熱球・LED電球）、割れたガラスや刃物は「燃やせないごみ」です。新聞紙などに包み、市の指定ごみ袋に入れて出してください。

● スプレー缶

できるだけ使い切り、穴を開けずに出してください。



穴はあけない!

▲ 危険

充電式電池が入ったままの家電が燃やせないごみに混ざると、ごみ収集車やごみ処理施設での火災の原因となります。 ▼発火した充電式電池



● モバイルバッテリー・充電式電池（リサイクルマークあり）
 ビニールテープで金属端子部分を覆って絶縁してから出してください。
 充電式電池を家電から取り外し、透明または半透明の袋に入れて「危険ごみ」に出してください。

ごみ処理手数料を改定します

令和6年10月1日から、指定ごみ袋を1ℓあたり2円から3円に改定します。

近年の物価や人件費の高騰により、ごみ処理にかかる経費が増大しているため、今後もごみ処理を安定的に行えるよう、手数料を改定することになりました。

詳細についてのお知らせを5月頃に全世帯へ配布する予定です。また、自治会館や地区センターなどで説明会を開催する予定です。日時については広報えつやホームページなどでお知らせします。

● ごみ袋1枚当たりの金額

サイズ	10月から	サイズ	9月まで
5ℓ	15円	5ℓ	10円
10ℓ	30円	10ℓ	20円
20ℓ	60円	20ℓ	40円
30ℓ	90円	30ℓ	60円
40ℓ	120円	40ℓ	80円
ごみ処理券	100円	ごみ処理券	80円
	200円		160円

市LINE公式アカウントを友だち登録すると…

ごみ収集日の朝に通知が届きます



市LINE公式アカウントでは、ごみ収集日の朝に、当日回収するごみの種類などをお知らせしています。

受信設定の「ごみ収集のお知らせ」で受け取りたい情報をタップします。その後「お住まいの地区」で住所を設定すると、ごみ収集日に通知が届きます。



有機ELテレビの捨て方が変わります

4月1日から有機ELテレビが家電リサイクル法の対象になり、市で収集できなくなります。

詳細は二次元コードからご覧ください。



環境クリーンセンターに家庭ごみを搬入する時の注意点

- ごみは市内で発生したものに限りです。原則、自分で搬入してください。市内在住が確認できるもの（免許証・公共料金領収書など）が必要です。
- 「燃やせるごみ」「燃やせないごみ」に分別して搬入し、袋は中身が見えるものを使用してください。また、指定ごみ袋、ごみ処理券、大型ごみ処理シールは使用できません。
- 搬入の際は、係員の指示に従い、自分でごみを降ろしてください。また、安全のためお待ちいただくことがあります。
- 土曜・祝日は大変混雑し、1時間以上お待ちいただく場合もあります。下の二次元コードから、混雑予想カレンダーをご覧ください。

環境クリーンセンター
 (八幡122 ☎ 391-0422)



【受入時間】

9:00 ~ 12:00、13:00 ~ 16:00
 ※年始、日曜日を除く

【ごみ処理手数料】

10kgにつき150円

集団資源回収を利用しましょう

新聞紙や雑誌、段ボールなどは集団資源回収に出しましょう。

回収品目、回収日などは市ホームページで公開

していますが、詳細は各自治会、学校などが独自に決めていますので、各団体にお問い合わせください。

